

様式第1号

兵庫県福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名 称	NPO法人 福祉サービス評価センター
所在地	神戸市北区鈴蘭台北町1-11-8 ベルダ鈴蘭台601号
評価実施期間	平成22年 4月 1日～平成23年 3月 31日 (実地(訪問)調査日:平成23年3月8日)
評価調査者	HP05-1-0012 HP05-1-0083 HP05-1-0088

契約日から評価
結果の確定日まで

2 福祉サービス事業者情報

(1) 事業者概要

事業所名称: あいの保育園 (施設名)	種別: 保育所
代表者氏名: 理事長 東前 公文 (管理者) 園長 大前 通代	開設(指定)年月日: 昭和・平成 7年 4月 1日
設置主体: 社会福祉法人 三翠会 経営主体:	定員 90(116)名 (利用人数)
所在地: 〒669-1345 三田市下相野1904番地	
電話番号: 079-568-6292	FAX番号: 079-568-6292
E-mail: ainoho@dream.ocn.ne.jp	ホームページアドレス: http://heartland.geocities.jp/ainoho/

(2) 基本情報

理念・方針 ・園児の人格を尊重し、養護及び教育を行い人格形成の礎をつくる。 ・高齢者等との交流を深めることにより、優しさ思いやりの心を育てる。 ・豊かな環境の中で感性豊かな心や自尊感情を育てる。						
力を入れて取り組んでいる点 あ ありがとうと心をこめて言える子。 い いきいきと自分を表現できる子。 の のびのびとまっすぐな心に。						
職員配置 ()内非常勤	職 種	人 数	職 種	人 数	職 種	人 数
	園 長	1名()	調理員	2名(1)		()
	主任保育士	1名()		()		()
	保育士	18名(8)		()		()

施設の状況（平成23年3月31日現在）

0歳児クラス	14名	1歳児クラス	18名	2歳児クラス	20名
3歳児クラス	23名	4歳児クラス	23名	5歳児クラス	18名

3 評価結果

総評

特に評価の高い点

恵まれた自然環境・設備環境の中、のびのびとした保育がなされています。

また、保育園の方針に基づいた子ども本位の保育がなされています。

職場環境の良さからか、職員の定着率も高く、ベテラン・中堅・新人というバランスの良い人員配置が実現しています。

当該法人は老人福祉施設も有しており、福祉業界全体にも精通しており、質の高い保育サービスの実現を目指しています。

管理者が教職員出身ということもあり、子どもの人権尊重への意識が高く、子ども本位の施設運営がなされています。

特に改善を求められる点

当該法人は複数の施設を有する事業体となっています。重要項目について本部で決定し、日常業務を施設が行っています。

その結果、保育士を中心とする職員は、保育サービスに集中できるといった利点はあるものの、組織として施設を運営しているという意識に乏しい面があります。

今後は、職員全員が保育の現場だけではなく、組織としてその運営にも携わっているとの認識を持つ様な意識改革と、そのことへの積極的な取り組みが望まれます。

第三者評価結果に対する事業者のコメント

ある部分でこうしていることが「良いことだ」と思って日々実施していることが、見る人や見る角度によって違うということに改めて気付かされた。よりよい保育園になるためには内論だけでなく、第三者的な見方や考え方を聞くことが大切であるということを感じさせて頂いた。ありがとうございました。

各評価項目に係る第三者評価結果

（別紙1）

各評価項目に係る評価結果グラフ

（別紙2）

評価細目の第三者評価結果

評価対象 福祉サービスの基本方針と組織

- 1 理念・基本方針

	第三者評価結果
- 1 -(1) 理念、基本方針を確立している。	
- 1 -(1)- 理念を明文化している。	a・b・c
- 1 -(1)- 理念に基づく基本方針を明文化している。	a・b・c
- 1 -(2) 理念や基本方針を周知している。	
- 1 -(2)- 理念や基本方針を職員及び利用者やその家族等に周知している。	a・b・c

特記事項

保育理念や基本方針は適正に策定されており、その文言から保育所の使命や目指す方向、考え方を読み取る事ができます。
 理念や基本方針を職員が理解できるよう、職員会議での説明など具体的な取組みが行われており、職員もその内容をよく理解しています。
 利用者やその家族への周知も入園のしおりへの記載、行事等における説明など積極的に取組みが行われています。
 また、ホームページへの記載等、誰もが知る事ができる様な取組みも行われています。

- 2 計画の策定

	第三者評価結果
- 2 -(1) 中・長期的なビジョンと計画を明確にしている。	
- 2 -(1)- 中・長期計画を策定している。	a・b・c
- 2 -(1)- 中・長期計画を踏まえた事業計画を策定している。	a・b・c
- 2 -(2) 計画を適切に策定している。	
- 2 -(2)- 計画の策定を組織的に行っている。	a・b・c
- 2 -(2)- 計画を職員や利用者に周知している。	a・b・c

特記事項

理念や基本方針の実現に向けたビジョンは明確にされています。
 また、各年度の事業計画も適切に策定されています。
 将来を見据えた中・長期計画についても適切に策定されています。
 今後は職員参画のもとでの事業計画や中・長期計画の策定、その実施状況の把握・分析、見直しを行い更に充実した計画の策定が望まれます。

- 3 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
- 3 -(1) 管理者の責任を明確にしている。		
- 3 -(1)-	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a ・ b ・ c
- 3 -(1)-	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a ・ b ・ c
- 3 -(2) 管理者のリーダーシップを発揮している。		
- 3 -(2)-	質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	a ・ b ・ c
- 3 -(2)-	経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	a ・ b ・ c

特記事項

管理者は長年に渡り、子供に関わる仕事に携わっており、豊富な経験を有しています。自らの責任や役割も十分理解しており、強いリーダーシップを発揮しています。また、管理者は組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置や職員の働きやすい環境整備等に積極的に取り組んでいます。

評価対象 組織の運営管理

- 1 経営状況の把握

		第三者評価結果
- 1 -(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
- 1 -(1)-	事業経営をとりまく環境を的確に把握している。	a ・ b ・ c
- 1 -(1)-	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	a ・ b ・ c
- 1 -(1)-	外部監査等を実施している。	a ・ b ・ c

特記事項

福祉サービス全体に対するニーズや潜在的利用者に関するデータ等の収集、保育所が位置する地域での利用者等の特徴や変化等を把握するための取組みが行われています。定期的にコスト分析や在園児の推移等の分析を行なうなど、経営状況を分析して改善すべき課題を発見するための取組みも行われています。今後は定期的な外部監査の実施、または税理士等の外部の専門家による指導や助言を求め、その指摘事項等にもとづいた経営改善の実施が望まれます。

- 2 人材の確保・養成

	第三者評価結果
- 2 -(1) 人事管理の体制を整備している。	
- 2 -(1)- 必要な人材に関する具体的なプランを確立している。	a ・ b ・ c
- 2 -(1)- 人事考課は客観的な基準に基づいて行っている。	a ・ b ・ c
- 2 -(2) 職員の就業状況に配慮している。	
- 2 -(2)- 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みを構築している。	a ・ b ・ c
- 2 -(2)- 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	a ・ ・ ・ c
- 2 -(3) 職員の質の向上に向けた体制を確立している。	
- 2 -(3)- 職員の教育・研修に関する基本姿勢を明示している。	a ・ b ・ c
- 2 -(3)- 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画を策定し、計画に基づいて具体的な取組を行っている。	a ・ b ・ c
- 2 -(3)- 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a ・ b ・ c
- 2 -(4) 実習生の受け入れを適切に行っている。	
- 2 -(4)- 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	a ・ b ・ c
- 2 -(4)- 実習生の育成について積極的な取組を行っている。	a ・ b ・ c

特記事項

目標とする保育サービスの質を確保するための必要な人材や人員体制に関する基本的な考え方、人事管理に関する方針は確立されています。
 また、そのプランに基づいた人事管理が実施されています。
 定期的に職員との個別面接の機会を設ける等、職員が相談しやすいような組織内の工夫、職員が働きやすい環境の整備等に積極的に取り組んでいます。
 職員も積極的に外部研修に参加するなど、質の向上に取り組んでいます。

- 3 安全管理

	第三者評価結果
- 3 -(1) 利用者の安全を確保するための取組を行っている。	
- 3 -(1)- 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制を整備し機能している。	a ・ b ・ c
- 3 -(1)- 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a ・ b ・ c

特記事項

安全管理については事故発生時対応マニュアル等の整備、チェックリストの活用など積極的に行われています。
 定期的に安全確保に関する検討会も開催されています。
 子どもの安全を脅かす事例の収集も積極的に行なわれており、収集した事例について、職員参画のもとで発生要因を分析し、未然防止策の検討が行なわれています。

- 4 地域との交流と連携

		第三者評価結果
- 4 - (1) 地域との関係を適切に確保している。		
- 4 - (1) -	利用者地域とのかかわりを大切にしている。	a ・ b ・ c
- 4 - (1) -	事業所が有する機能を地域に還元している。	a ・ b ・ c
- 4 - (1) -	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a ・ b ・ c
- 4 - (2) 関係機関との連携を確保している。		
- 4 - (2) -	必要な社会資源を明確にしている。	a ・ b ・ c
- 4 - (2) -	関係機関等との連携を適切に行っている。	a ・ b ・ c
- 4 - (3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
- 4 - (3) -	地域の福祉ニーズを把握し、事業・活動を行っている。	a ・ b ・ c

特記事項

利用者地域のかかわり、施設と地域のかかわりを非常に大切にしています。子育て相談など事業所が有する機能も惜しみなく地域に還元しています。関係機関との連携やネットワークを通じて保育のみならず、地域の福祉向上のための取組みも行われています。保育所と地域の係わりの必要性や基本的な考え方の職員への周知も十分になされています。

評価対象 適切な福祉サービスの実施

- 1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
- 1 - (1) 利用者を尊重する姿勢を明示している。		
- 1 - (1) -	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a ・ b ・ c
- 1 - (1) -	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a ・ b ・ c
- 1 - (2) 利用者満足の向上に努めている。		
- 1 - (2) -	利用者の意向の把握と満足の向上への活用に取り組んでいる。	a ・ b ・ c
- 1 - (3) 利用者が意見等を述べやすい体制を確保している。		
- 1 - (3) -	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a ・ b ・ c
- 1 - (3) -	苦情解決の仕組みを確立し十分に周知・機能している。	a ・ b ・ c
- 1 - (3) -	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a ・ b ・ c

特記事項

子どものプライバシー保護についてはマニュアル等も整備されており、そのマニュアル等に基づいたサービスが実施されています。利用者満足の向上については、苦情解決の体制を整備する等、その仕組みは確立しています。利用者が相談や意見を述べやすいような取組みについて、保護者等に文書を配布したり、解りやすい場所に掲示する等、積極的な取組みが行われています。

- 2 サービスの質の確保

	第三者評価結果
- 2 -(1) 質の向上に向けた取組を組織的に行っている。	
- 2 -(1)- サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a ・ b ・ c
- 2 -(1)- 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	a ・ b ・ c
- 2 -(1)- 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	a ・ b ・ c
- 2 -(2) 個々のサービスの標準的な実施方法を確立している。	
- 2 -(2)- 個々のサービスについて標準的な実施方法を文書化しサービスを提供している。	a ・ b ・ c
- 2 -(2)- 標準的な実施方法について見直しをする仕組みを確立している。	a ・ b ・ c
- 2 -(3) サービス実施の記録を適切に行っている。	
- 2 -(3)- 利用者に関するサービス実施状況の記録を適切に行っている。	a ・ b ・ c
- 2 -(3)- 利用者に関する記録の管理体制を確立している。	a ・ b ・ c
- 2 -(3)- 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a ・ b ・ c

特記事項

<p>サービスの質の向上については、随時その内容の見直しや評価が行われています。しかし、その評価や見直しが定期的に行われているとは言えない状況にあります。今後は、職員参画のうえ、個々のサービスの内容や標準的な実施方法の定期的な評価・見直しの実施が望まれます。</p> <p>利用者に対する記録の整備も、その仕組みを整備したうえで適切に行なわれています。しかし、その記録について、保管、保存、廃棄、更には開示に関する規定の整備が十分とはいえない状況にあります。</p>

- 3 サービスの開始・継続

	第三者評価結果
- 3 -(1) サービス提供の開始を適切に行っている。	
- 3 -(1)- 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a ・ b ・ c
- 3 -(1)- サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a ・ b ・ c
- 3 -(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	
- 3 -(2)- 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a ・ b ・ c

特記事項

<p>サービス提供の開始にあたっては入園のしおり等、利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を解りやすく提供しています。</p> <p>また、見学や体験利用も希望に応じて随時行なわれています。</p> <p>卒園後の育児相談についても適切に行なわれており、その事の保護者への周知も十分行なわれています。</p> <p>今後は転園した場合等の、サービスの継続性に配慮した規定の策定が望まれます。</p>

- 4 サービス実施計画の策定

	第三者評価結果
- 4 -(1) 利用者のアセスメントを行っている。	
- 4 -(1)- 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a ・ b ・ c
- 4 -(1)- 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	a ・ b ・ c
- 4 -(2) 利用者に対するサービス実施計画を策定している。	
- 4 -(2)- サービス実施計画を適切に策定している。	a ・ b ・ c
- 4 -(2)- 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a ・ b ・ c

特記事項

利用者のアセスメントについては、定められた手順に従って適切に行われています。
 また、子ども一人ひとりのニーズや課題を明示するための手続きも適切に行われています。
 サービスの実施計画についても適切に策定されています。
 そのサービスの実施計画どおりにサービスが行われている事を確認するための仕組み作りも行われています。
 また、その評価・見直しも定期的なものはもちろんの事、必要があれば随時行われています。

評価対象 実施する福祉サービスの内容

- 1 子どもの発達援助

	第三者評価結果
- 1 -(1) 発達援助の基本	
- 1 -(1)- 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成している。	a ・ b ・ c
- 1 -(1)- 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	a ・ b ・ c
- 1 -(2) 健康管理・食事	
- 1 -(2)- 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a ・ b ・ c
- 1 -(2)- 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a ・ b ・ c
- 1 -(2)- 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映している。	a ・ b ・ c
- 1 -(2)- 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	a ・ b ・ c
- 1 -(2)- 食事を楽しむことができる工夫をしている。	a ・ b ・ c
- 1 -(2)- 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a ・ b ・ c
- 1 -(2)- 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a ・ b ・ c
- 1 -(2)- アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a ・ b ・ c

- 1 -(3) 保育環境	
- 1 -(3)- 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a ・ b ・ c
- 1 -(3)- 生活の場に相応しい環境とする取組を行っている。	a ・ b ・ c
- 1 -(4) 保育内容	
- 1 -(4)- 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	a ・ b ・ c
- 1 -(4)- 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	a ・ b ・ c
- 1 -(4)- 子どもが自発的に活動できる環境を整備している。	a ・ b ・ c
- 1 -(4)- 身近な自然や社会とかかわれるような取組を行っている。	a ・ b ・ c
- 1 -(4)- さまざまな表現活動が体験できるように配慮している。	a ・ b ・ c
- 1 -(4)- 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	a ・ b ・ c
- 1 -(4)- 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	a ・ b ・ c
- 1 -(4)- 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a ・ b ・ c
- 1 -(4)- 乳児保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a ・ b ・ c
- 1 -(4)- 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。	a ・ b ・ c
- 1 -(4)- 障害児保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a ・ b ・ c

特記事項

子どもの発達援助については、保育計画が児童憲章、保育指針等の保育の基本方針に基づいて作成されており、指導計画も定期的に評価・見直しが行われ、その結果に基づいた指導計画を改定しています。

また、健康管理や食事・保育環境や保育内容についても、マニュアルの整備やチェックリストの活用が行われており、職員への研修や周知も積極的に行われています。

特に人権問題については、積極的に取り組んでいます。

- 2 子育て支援

	第三者評価結果
- 2 -(1) 入所児童の保護者等への育児支援	
- 2 -(1)- 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	a ・ b ・ c
- 2 -(1)- 家庭の状況や保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。	a ・ b ・ c
- 2 -(1)- 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	a ・ b ・ c
- 2 -(1)- 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	a ・ b ・ c

- 2 -(1)- 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	a ・ b ・ c
- 2 -(1)- 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	a ・ b ・ c

特記事項

子育て相談に応じたり、個別面談の機会を設ける等、保護者に対して積極的な育児支援を行っています。
また、家庭の状況や保護者との情報交換を積極的に行っており、保護者と共通理解を得るための努力をおこなっています。
児童虐待に対するマニュアルも整備されており、関係機関との連携を図るための取組みも積極的になされています。

- 3 安全・事故防止

	第三者評価結果
- 3 -(1) 安全・事故防止	
- 3 -(1)- 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施している。	a ・ b ・ c
- 3 -(1)- 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知している。	a ・ b ・ c
- 3 -(1)- 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている。	a ・ b ・ c
- 3 -(1)- 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している。	a ・ b ・ c
- 3 -(1)- 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している。	a ・ b ・ c

特記事項

衛生管理マニュアル・食中毒発生時対応マニュアル・不審者対応マニュアル等の整備、各種チェックリストの活用などは組織的に、かつ積極的に行なわれています。
また、ヒヤリハットなどの事例の収集や事故防止のための研修なども積極的に行われています。
今後は、各種マニュアル等の定期的な評価・分析・見直しの実施を行いさらに充実した内容にして行くことが望まれます。